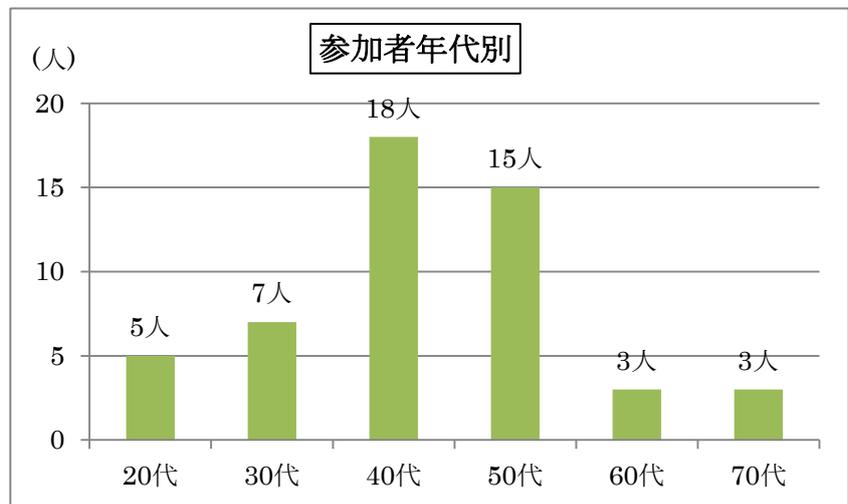


今こそ考えよう 共生（インクルーシブ）教育 第三回 《アンケート集計》

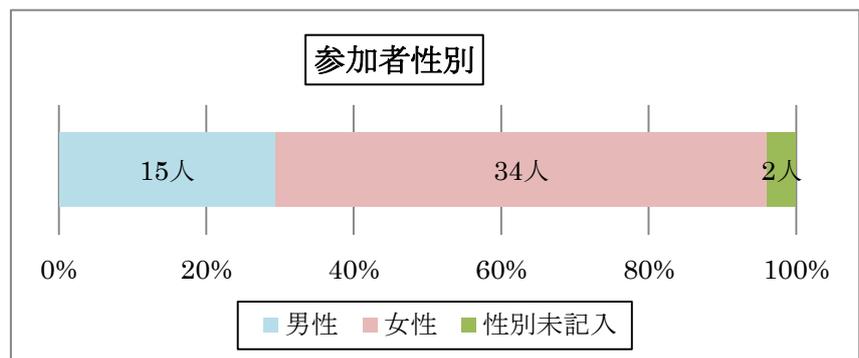
◆事前のお申込み72名に対し、当日は83名の皆様にご参加いただきました。

1. 参加者の年齢・性別

年代	人数(人)
20代	5
30代	7
40代	18
50代	15
60代	3
70代	3
アンケート未提出	32
参加者合計	83

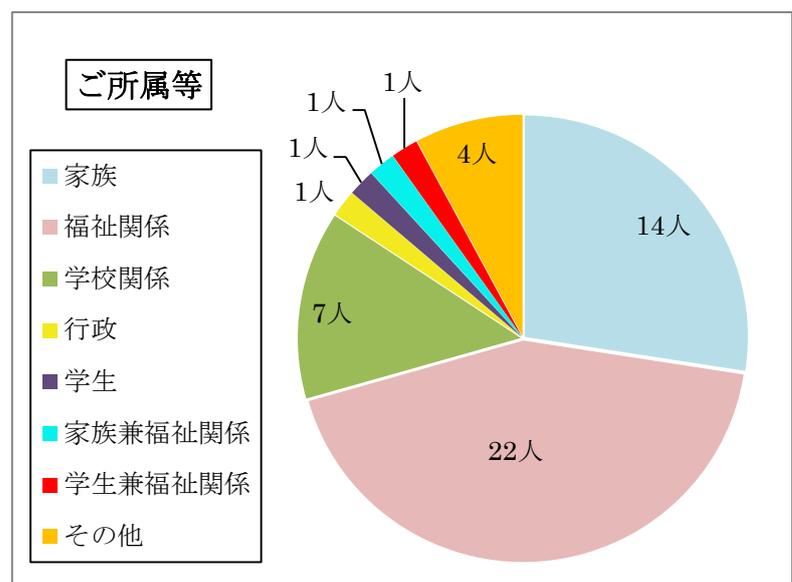


性別	人数(人)
男性	15
女性	34
性別未記入	2
アンケート未提出	32
参加者合計	83



2. 参加者のご所属等

分類	人数(人)
家族	14
福祉関係	22
学校関係	7
行政	1
学生	1
家族兼福祉関係	1
学生兼福祉関係	1
その他	4
アンケート未提出	32
参加者合計	83



〈その他の内訳〉

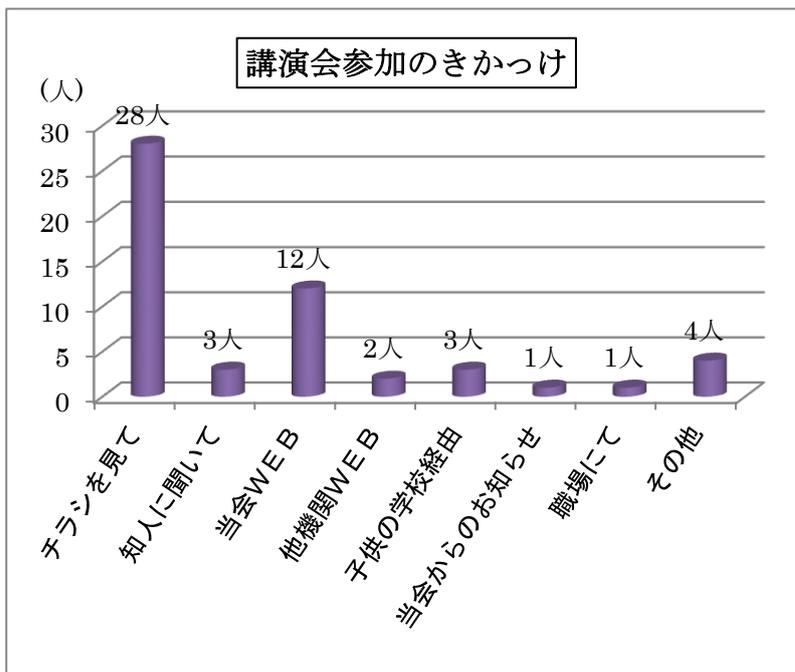
元教員・元支援員・元福祉行政及び団体職員など

3. 講演会を何でお知りになりましたか？

参加のきっかけ	人数(人)
チラシを見て	28
知人に聞いて	3
当会WEB	12
他機関WEB	2
子供の学校経由	3
当会からのお知らせ	1
職場にて	1
その他	4

〈その他の内訳〉

学校で紹介・関係者など



4. 五十嵐猛氏の講演を聞かれた感想などあればお書きください。

福祉関係兼学生・女性	大分県独自の仕組みを知らなかった為、もっと知りたいと感じました。そして福岡でもモデル事業が始まっていけばいいなとも思いました。
家族・男性	ユーモアもありとてもわかりやすかったです。
家族兼福祉関係・女性	障がいのある人の責任が母親に集中する部分をよく理解されていて、胸がつまる思いがしました。施設職員も軽い気持ちで「親の理解が足りない等」口にしてることが多いです。
福祉関係・女性	柔軟性と行動力がより良く変えていくために必要だと実感しました。
福祉関係・男性	発達障がい者に対する「みかた・考え方」のヒントをたくさんいただいたと感謝しています。また、やれることを積極的に取り組まれ実績を着々と積み重ねられているその行動力に大変感激いたしました。
福祉関係・女性	受容的交流療法、人によって物の見方、考え方がちがうこと。それを認めた上でこちらの見え方や考え方を伝えることが大切だと思いました。
家族・男性	子供の視点を認める、というのは今日から実践してみます。
福祉関係・男性	とても参考になった。

元教員・女性	子育て総合支援センターの話がすごいと思った。保育園に通いながら個別の支援も受けられるこのような取り組みが福岡でも是非導入されたらと思う。支援ネットワーク、保育コーディネーターもぜひ福岡にも必要であると思った。強度障害の方へのとりくみが長く続けられているとの話は心強いなあと思った。
家族・女性	具体的なお話が聞いてよかったです。
家族・性別不明	大分の様な体制が福岡でも実現すればいいなあと思いました。
学校関係・女性	障がいのある子どもたちが成長し、地域社会でいきいき生活できることを目指していきたいと思いました。
家族・女性	大分での取り組みが興味深かったです。
福祉関係・女性	「発達支援登録証」がとても有効だと感じました。発達障害のある方の細やかな配慮点を共有できるものがあることで、生きづらさの解消につながると思いました。
福祉関係・女性	保育コーディネーターや発達支援スーパーバイザーに興味を持ちました。楽しい講演をありがとうございました。
福祉関係・女性	今日お話し頂いた事を職場でも共有できたらと思います。
学校関係・女性	相手を認めることによって、お互い理解し合うことによって、障害のハードルが低くなり得ると納得しました。非常に感動的なご講演でした。
福祉関係・女性	ホームスタートを知らなかったのが、非常に為になりました。お話も面白くてあっという間でした。
学校関係・男性	大分県の取り組み、先進性が分かり易く説明していただけたと思います。
元支援員・男性	私は一般参加です。いつも感じるのは支援に関わらない一般の人々はもちろん発達障害に対して何の知識も持ちません。(それが障がいなのですが)もし職場に発達障がい(手帳を持たない人も)の人がいた場合、互いに理解ができなく「人間関係がうまくいかない」ということが発生します。 今日の講演の内容から逸脱するかもしれませんが、知らない人にどのように伝え、知ってもらおうかということがとても大切だと思います。(変なやつ、いじ悪い人、空気読まない…等になっている)
福祉関係・女性	講演の中であったA型かB型で一般の地域住民と接する中で理解を深める方法もとてもよい方法の一つであると思いますが、まだ施設を知らない、興味のない人が多いです、
福祉関係・女性	発達障がいのある人の支援をされている専門家のお話が聞いて良かったです。直接支援から地域との関わり、支援専門員の養成まで幅広く知ることができて良かったです。

福祉関係・男性
現在相談員として保育士・教員・行政・保護者・当事者との接点がある中、自身のスーパーバイズ力、視点の切り替え、そして受け入れる姿勢を伝えていける力をつけたいと思っています。
福祉関係・女性
丁寧な保育という言葉が心に残りました。子育て支援センターについてもっと話を聞きたかったです。
福祉関係・男性
大分での取り組みは先進的であることに感動しました。
福祉関係・女性
特性は、人それぞれで一つの価値観だけが当たり前と思う概念から脱しないと、色んな子と関わるのに考え方が狭くなると思ったので、色んなことに触れてみようと思いました。
家族・女性
発達障がいがある人の視点が、場合によって気付きにくいところにあることを気付かされた。広い視野をもつことですね。
福祉関係・女性
保育園と発達支援センターの連携がぜひ福岡市でも実現してほしいと思いました。
家族・男性
大分の取り組みをもっと詳しく、特化したお話が聴ければもっと良かった。
福祉関係・女性
福岡でどう支援体制を作っていくか・・・とても刺激をいただきました。
家族・女性
こういった講演会などのあとによくあるのは、感想文として「うちの地球じゃ絶対ムリ～！」「うちの子じゃとうていこういいうのはできないわ～」「この人はまだいいわよ～うちの子なんてもっと大変なんだから！」ってなのばかりで、結局自分たちの子、自分の家族、きょうだい児などのケアにフィードバックされない。じゃ、私たち個人(親)はどうしたらいいのか？と常に自問自答の日々です。うちは軽度だけど、軽度の人とその家族に対する対処が手薄な印象があるし、困っていても相談しにくい。
学校関係・女性
大分県の先進的な取り組み内容が知れて勉強になりました。特に認定こども園と児発の取り組みはすごい!!の一言です！大分でそのような先進的な取り組みがなぜ可能になったのか。単に法人の取り組みの成果だけではない要因はなかったのか等、もう少し詳しく知りたいです。
福祉関係・男性
すばらしい大分のまとめ役の五十嵐先生、そういった視点ではなく個別の視点で見ていた私の考え方を変更すべき事を多々感じました!!
福祉関係・女性
環境の障がい、生きづらさは周りが作り出しているのフレーズ。「彼等の見方」「我々の見方」自他を知り、違いを受け入れ支え合うをかみしめていきたい。
学校関係・男性
具体的な制度を行動力を持って作っていった方の話を聞いたことは貴重でした。大分には「子育て総合支援センター」「スーパーバイザー」「保育コーディネーター」など、キーワードがきちんとあった。福岡市の方はぼんやりしていた。

学校関係・女性
人への愛情が深く伝わってきて、心が明るくなりました。
福祉関係・男性
非常にユーモアがあって面白いと思いました。
家族・男性
現場で色々取り組んでこられた事を分かりやすく語っていただきました。
福祉関係・女性
一つの法人の中でいくつかの事業所があり、子育て総合支援センターについて興味がわいた。また、スーパーバイザーや保育コーディネーターなど研修に強化していることはいいと思った。
家族・女性
画期的な認定こども園を作られたことに大変感動しました。大人になっても障がいある方の居場所作りとしての地域との共生モデルを作られ実践されていることにも感銘をうけました。こういう場所を子どものために作っていきたいと思います。
学校関係・女性
強度行動障がいとは周囲の人が造り出している、という言葉がとても印象的でした。
家族・女性
理想的な取り組みです。一言も聞きもらしたくないと思うほどでした。五十嵐先生しびれました。感動しました。特に合理的かつインクルーシブであり、福岡での取り組みと大きなギャップを感じました。
行政・男性
見方や接し方を決めつけるのではなく違う見方や接し方でわかることもあることがよくわかった。
地下鉄で停電したとき、点字ブロックをたどれば脱出できるという視点は目からウロコでした。
福祉関係・女性
大分の動きを早く福岡の子供たちに。
元福祉行政及び団体職員・男性
「発達障がい」の方に対するの理解を得る。
「実践の現場におられる人の話しは説得力がある。

5. トークセッションを聞かされての感想などがあればお書きください。

福祉関係・女性	乳幼児期・成人期の流れを知ることができ、とても勉強になりました。そして机上の知識を実践する事例を伺うことができ、イメージをつけることができました。学齢期についても知りたいと感じました。
家族・男性	必要性に疑問符を付けたくになりました。
家族兼福祉関係・女性	学童期→支援学校、学級における支援がメインになるが、下記のような内容で一番手薄になる時期。放デイは実質「預かりのみ」。「保育所等～」は学校に入りづらいと聞く。大事な時期、相談支援側からも手厚い支援や意見がほしい。
福祉関係・男性	相談窓口や体制が整えられつつあること。その内容について広く情報提供することはとても重要なことだと思っていますので、大変よい機会だったと思います。
福祉関係・女性	重度の方が住み慣れた地域で生活するための住まいが少ない。ショートも含めて社会資源が少ないという所に同感しました。池田さんの司会進行さすがでした!!
元教員・女性	福岡市のとりくみが少しわかったように思うが、話が難しく理解できにくい部分もあった。
家族・女性	質問の時間があればもっと嬉し方です。
家族・性別未記入	質問の時間とかあれば、もう少し充実したのかなあとと思います。
学校関係・女性	困ったときはすぐ相談してほしいと思いました。
家族・女性	小さい子の時に言うことを聞いていい子だった子は大きくなって逆に意思決定できず困るという話にとっても納得しました。
福祉関係・女性	親亡きあとの障がいのある人の支援についての課題の大きさを改めて感じました。住まいの場については本当に不足しており、実践の中で苦戦することが多いです。しかし、課題をとどめておくのではなく、協議会などを活用して社会資源の開発、施策への提案をしていくことも相談支援の役割だと痛感しました。
福祉関係・女性	学童期(小・中・高)にたずさわる方のお話を聞きたかったです。
学校関係・女性	先生方の熱意がひしひしと伝わってきました。参加させて頂いた学生にとっても、非常にためになりました。誠にありがとうございました。
福祉関係・女性	福岡市の現状、確認できた。

学校関係・男性	学齢期を含めた3名で発表・トーク・参加者との意見交換という形にしたほうがライフステージを見渡す内容になったかと思います。今日の一部・二部は、別のプログラムとして2日に分けた方が良かったと思いました。
福祉関係・女性	短時間でしたが、大きな課題がたくさんあると感じました。地域課題を1つずつ協議し、改善していくことが大切だと思います。
福祉関係・男性	プランでおわらない。再認識し、もう1度自分の取り組みをふりかえりたい。
福祉関係・女性	それぞれのお話が短かったので理解できないことも多かったのですが、幼児期から成人期までつながりが大切ですね。
福祉関係・男性	福岡市の特有の取り組みを聞いて良かったです。
福祉関係・女性	幼児・乳幼児からの療育等が大切だし、地域との関わりがその人の支援にいろんなアングルでみれてよいと思った。
家族・女性	田中さんが例として取り上げられた療育手帳A2の方の事例は心が痛みます。「共生」の見通しの遠さを感じました。専門職の方の力及び世の中にするためには、警察の中にも専門職の人を置く必要を感じました。
福祉関係・女性	私たちが目ざすものはとても明確なのに実際すすめていく上での困難が多いと感じました。
家族・男性	各センターの業務紹介でなく、トークセッションを期待していただけに残念。大分の五十嵐先生の話の聞いての福岡3名とのやり取り(トークセッション)がもっと聴きたかった！
福祉関係・女性	マンパワー・場の不足 etc、サービス上の課題と人材・専門性の育成(五十嵐先生のお話であれば発達障がいのとらえ方のちがいが理解できる人の育成)と、両輪が必要なんだなあと思いつつ聞きました。
学校関係・女性	制度的に以前と比べると進歩してきたことはわかりますし、その現場で働く方たちが自分の仕事を真剣に行っていることはわかりました。しかし、これから何が必要なのか？を考えるときに「こんなときが困る!!」「こんなことが足りない」という話が必要なのではないかと感じました。
	保育所等訪問支援事業が始まったばかりで十分に利用されていないということが出ましたが、マンパワーが不足しているという問題を解決するためには何が必要なのか、等の問題提起がもう少しほしかったと思います。
福祉関係・女性	相談支援事業所もかすみを食べては生きていけない。理念と経営のはざまにいつも悩みを抱えています。
学校関係・男性	トークセッションの割に課題を相談する人の話が長すぎて(相談したいのか説明したいのかよくわからない)、助言者の話が聞けない。具体的なアイデアも生まれなかった。

学校関係・女性
行政のしくみを詳細に説明していただくことができよかったです。
福祉関係・男性
やはり学齢期の話は聞きたかったです。
福祉関係・女性
支援をしていく上で、様々な人や機会が関わっていくことで、当事者や家族が住みやすく暮らしやすい環境になっていくのだと感じた。
家族・女性
あいあいセンターに初めて伺った時のこと、この後息子の障がいを受容していくまでのつらい日々を思い出しました。でもその時の丁寧なアドバイスがあって今息子が豊かに、親も力強くなりました。感謝しています。
家族・女性
大分の取り組みとどうしても比較してしまいますが、福岡の乳幼児期への取り組みは親支援も含め弱さを感じざるを得ません。「あいあいセンターに来園したいと思っている人はいない」。ここに辿り着くまでの親の葛藤や子育て不安を抱えているうえに、インフォーマルなつながり迄この時点で求められるのはしんどいのでは・・・と考えてしまいます。
行政関係・男性
障がい者本人が望む暮らしをいかに実現していくのか難しい面もあるが、知恵を出し合って実現できる社会にしていくことが大切だと感じた。
相談支援の体系が複雑でわかりにくいと感じた。制度ありきではなく、人を中心に考えることができるといいと思いました。制度が先ではなく人が先。
福祉関係・女性
参考になりました。

6. インクルーシブ教育に関してのご意見や、日ごろお困りのことなどあればお書きください。

福祉関係・女性	保護者の方への支援の必要性を伝えることが難しく感じます。子どものライフプランにおける支援がどのように変化をもたらすのかを分かりやすく伝えられるようになりたいです。
家族・男性	重度の障がいの方にばかり支援の比重があるのはわかりますか？軽度の障がいの方にももう少し注視して欲しいものです。
家族兼福祉関係・女性	学校(支援級)と保護者の連携がうまくとれていない case が多い。双方、相手の責任にしすぎる。保護者の負担が大きい、親が専門家にならねばいけない現状。 ペアレントメンター→以前から調べてみたが開催要綱や内容が良く分かりませんでした。
福祉関係・男性	必要なことは、五十嵐さんもおっしゃっていましたが、地域に市民に実情を、取り組みの良さをしっかり知ってもらうことが第一優先順位だと改めて思いました。そのために、支援者側が、知ってもらうためのコーディネート、しかけづくりがインクルーシブ教育を浸透させていく大切なことだと思いました。
家族・女性	特別支援級について。担任、交流級、管理職など学校全体で協力・意思の疎通をはかって頂きたい。
学校関係・女性	みんなが住みやすい社会をめざしていきたいです。
家族・女性	相談支援、生活支援を今まで利用することがなかったのですが、もっと気軽に連絡したいと思いました。
福祉関係・女性	また参加させて頂きたいです。
学校関係・女性	インクルーシブ研究会に参加させて頂き、大変有難いです。勉強していきたいと思っています。
福祉関係・女性	市内の小中学校ではインクルーシブ教育とは程遠いと痛感しています。
学校関係・男性	日本の教育の根本問題が様々あり、結果的に「学校」の中で多くの傷つき体験をしている若者が多数存在している。そのため発達障がいを抱えた人は、ほぼ例外なく2次障害を負わされるため、その方々が私のいる専門学校に入学して、学びの困難さを表明することとなっている。 教育と福祉の連携・交流・統合化がこの会のキーワードかと感じました。
家族・女性	専門家のつながり、当事者や家族同士のつながりは過ぎて来た立場から、大きな助けであったと思います。
福祉関係・女性	人がつくっていくこと。人が人へかかわっていくことでつくりあげられるものなのに、理解し参加(支援)してくれるマンパワーが少ない。地域・近所の方を引き込むために努力している人の話をきいてみたい。
家族・男性	

もちろん応援しています。教育・福祉機関との連携だけでなく、司法(警察)、行政や医療、地域とのネットワーク構築も肝要な気がする。
学校関係・女性
インクルーシブ教育というテーマの中で、今回のトークセッションはどのような位置づけだったのでしょうか？せっかく萌葱の郷の実践報告があったので、その報告との関連をもたせた方がよかったように感じました。大分と福岡の制度内容のちがい等・・・
福祉関係・女性
両親と子どもを分けて考える。
学校関係・男性
教育機関に注目しがちだが、成人期以降にも教育と共生を考えなくてはならないのかな、と思います。五十嵐氏が結局は人材(相談できる)を育成するために「発達障がい者支援専門員養成研修」のような具体的な制度が必要と考えました。
福祉関係・男性
支援する側の学びだけでなく、実際に一緒に過ごす子供たちへの学習の場を大事にしていければと思います。
福祉関係・女性
講師の方たちの話はわかりやすく、日頃の支援を振り返ったり、より良い支援を行うためには、など改めて考え直す機会にもなりました。ありがとうございました!!
家族・女性
引越しをして子どもに学校(小学校)を転校させるかどうか悩みました。高学年であること、今までの学校では地域の方々に息子を理解してあたたかく見守っていただいている現状があったので、前の学校に引き続き通わせることにしましたが、放課後デイ後、迎えに行くことが大変になっています。区をまたがると送迎がお願いできないところがほとんどです。放デイを探すのも大変です。支援計画を立てていただくシステムもよくわからないままでした。もう少しそのあたりが分かりやすく提供していただけたらと思います。
家族・女性
特別支援教育に放課後デイが導入され、障がい児、保護者の取り巻く生活環境は大きく変化しています。家庭-教育-余暇(大部分が放デイが担っていると思いますが)連携、質と地域との共生という視点はこれからの大きな課題ではないかと思います。
福祉関係・女性
公立小中学校の支援学級の在り方は、今の時代どうなのでしょう。

7. 講師へのご質問等ありましたらお書きください。

福祉関係・女性
保護者の方の気持ちを支援へと動かすことが困難に感じる際に実施されていることがあれば、可能な範囲で教えて頂きたいです。
家族・男性
軽度の障がい者への支援が手薄なのはなぜでしょうか？意外と障がい者が関わる犯罪って軽度の障がい者の割合が多いと思いますが、その辺も含めて講師の方及び壇上に立たれた方の見解をお願いします。
家族兼福祉関係・女性
知的のみ(情緒に障がいの見られない)の子に対して、あまり手がかけられていない現状があるのですが、支援級の先生にもスキルの差があったり、共有されていなかったりで、結局同じ学校の支援級に通いながら、支援への満足度に大きく差が出る。学校の先生が学べる場所・時間が少ない。「やりすごそう」という先生も実際にいる現状について何か切り口はないか。
福祉関係・男性
ぜひ見学させていただきたいなあ強く思いました。先進的な取り組みと合わせ、日ごろの支援に対する見方・考え方の整理のヒントを与えてくださったことに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。
福祉関係・女性
お忙し中、お話を聞かせて頂きありがとうございます。また機会がありましたら、ぜひお話を伺いたと思います。・・・カサ、忘れてしまったもの・・・出てくると良いですね。お帰りお気をつけください。
元教員・女性
前回も思いましたが、講師の方の著書があるのなら受付の所などで販売してもらったらうれしいなあと思いました。もっともっとお話聞きたかったです。
福祉関係・女性
日々の業務の中で、最終的な目標・目指すところをついつい忘れてしまいがちですが、初心にかえてまた明日から頑張ろうと思いました!!ありがとうございます!!
家族・男性
障がい者支援専門員や保育コーディネーター養成研修にかかる費用は、どこから出ているのか？(県の気もしますが・・・)出来れば補助・助成金額を。
発達支援登録証をいただいた方のメリットは？(完全なボランティアですか？)
福祉関係・女性
本日はありがとうございました。また明日からがんばります。
学校関係・女性
お疲れ様でした!!ありがとうございました。
福祉関係・女性
貴重な研修会に参加させて頂きありがとうございました。
家族・女性
「大分モデル」を小中学校の支援級にたずさわる先生方に取り入れていただきたい。

家族・女性

福岡の相談支援センターの窓口は見えてきづらいのと、窓口が分かれすぎている印象がある。切れ間のない支援を望みたいのにセンター化しすぎているのか、細切れであり、非合理的である。相談は家族にとってストレスのかかることであり労力もいるのです。